

かんきょう四季

令和2年度版

第36号 2021年4月



撮影：三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株) 吉田 順一氏

相模原の環境をよくする会

ごあいさつ

相模原の環境をよくする会

会長 小 松 秀 一
(三菱電機株式会社 鎌倉製作所)
相模事務所



新緑の候、各会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
本年度より「相模原の環境をよくする会」の会長を引き継がせていただきました。今年度もコロナ禍対策により集団での活動は制限されるところですが、安心して参加できる事業活動を通じて相模原の環境の維持向上に少しでも貢献できるよう微力ながら尽力してまいりたいと思っておりますので、皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、当会は昭和60年に発足してから37年と長期にわたり活動を行ってまいりました。その前身団体は、市内の工場を中心とし、河川を汚濁から守ることを目的とした「相模原の河川をきれいにする会」と、大気環境の保全に努めることを目的とした「相模原の青空を守る会」ですが、現在では地球温暖化対策など、より広い自然環境をとらえた環境の維持向上へと活動を展開しております。

近年では、相模原市は令和2年7月に「SDGs 未来都市」に選定され、SDGsの推進が積極的に行われているほか、令和2年9月に、政令指定都市として初めて、2050年のCO₂排出量実質ゼロに向けた取組や、防災・減災の取組等の積極的な推進を掲げた「さがみはら気候非常事態宣言」を表明し、地球温暖化の影響等による気候変動に強いまちづくりに向けた取組が進められています。そのような中で当会としましても、相模原市の環境の維持向上のために会員の皆様のみならず関係団体や市民も巻き込んだ活動に取り組んでまいりたいと考えております。

昨年度はコロナ禍対策に伴い多くの事業を中止する結果に至りました。ワクチン接種による希望も見えてきましたが、しばらくはコロナ禍対策を継続する必要があります。本年度事業に関しては、この様な状況においてどのような活動ができるか審議を進め、従来事業の見直しを行いました。コロナ禍における新しい活動スタイルを取り入れた取り組みとしてHPからの情報発信強化、オンラインを活用したセミナー、写真コンテストや、従来事業に関しては密を避けた実施や、開催時期に関しては感染拡大が予測される時期からの変更を行うことで安心して参加できる計画といたしました。

また、本会の活動のみならず他の環境保全関連の活動や審議会などへの参加を通して、環境維持向上の役に立つことができるよう取り組んでまいりたいと考えております。

皆様におかれましても、会の目的である「公害を未然に防止し、豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境づくりに努め、もって快適な環境の創造に寄与すること」の実現に向け本年も引き続きご協力のほどよろしくお願いします。

目 次

■ 相模原の環境をよくする会 活動概要	1
地球のために わたしたちが今、できること。	

■ 令和2年度活動報告	
全体活動	3
市民向け体験事業	3
調査事業	4
会員向け啓発事業	5
広報事業	9
その他の運営・活動記録	10

■ 事業の調査結果	
河川生物相調査結果報告書	11

- 名 簿
- 相模原の環境をよくする会会則
- 相模原の環境をよくする会細則
- 表彰に関する規定
- 入会申込書・退会届・変更届 様式



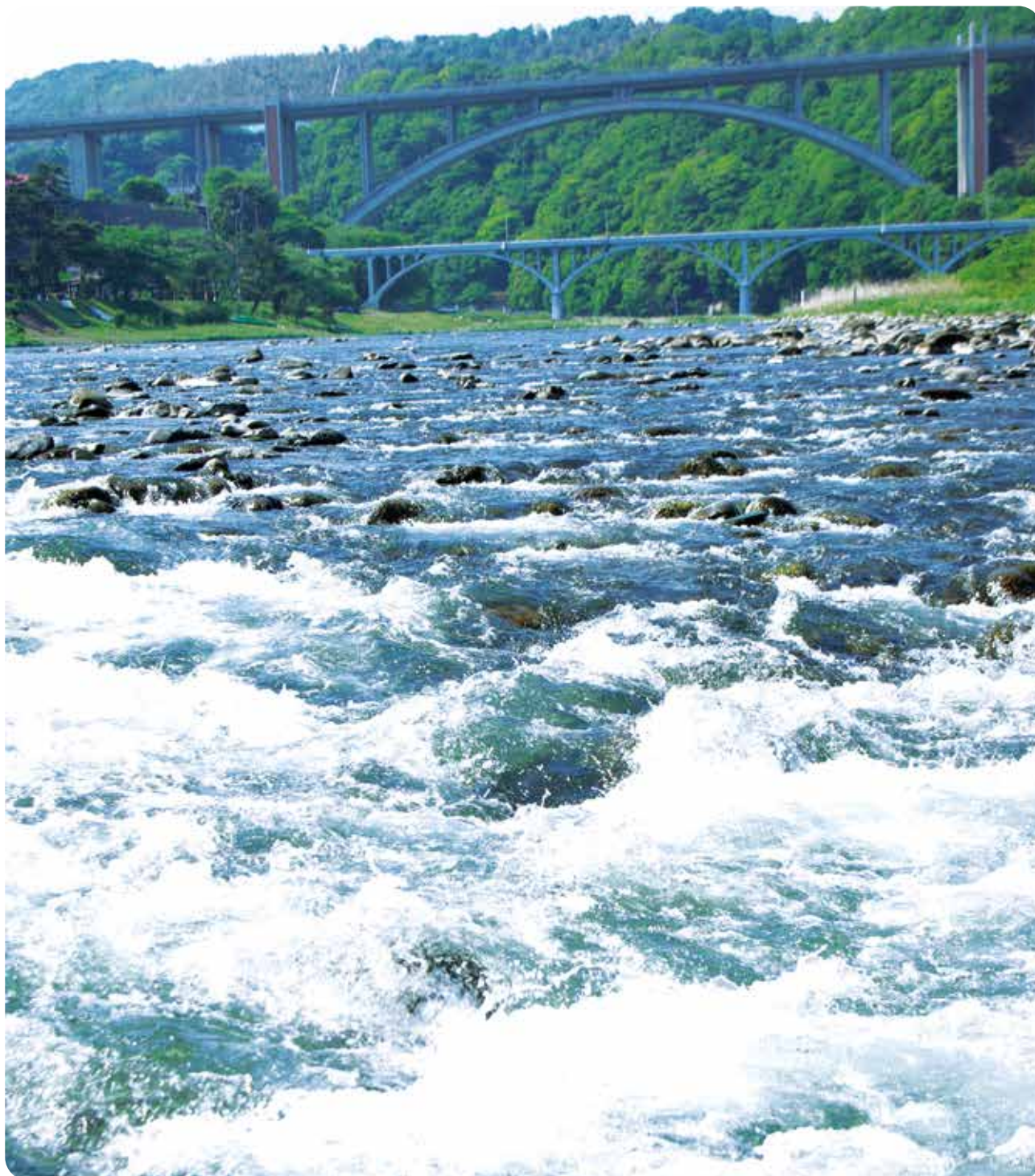
撮影：三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所 渡部 一浩 氏



撮影：三菱重工業(株) 相模原製作所 織田 氏 (ペンネーム)

地球のために わたしたちが 今、できること。

相模原の環境をよくする会は、相模原市内の工場・事業所など、100余りの企業・団体等が集まり、
公害の未然防止と、豊かな自然を守り、
快適な環境をつくるための活動をつづけている団体です。



撮影：写真家 高橋ざいち 氏

■ 事業活動に活かせる環境情報を提供しています

- 会員同士の相互理解や環境に関する知識・情報を深めるため、会ホームページで、会員紹介や環境に関する法・条例の改正などの情報提供を行っています。
- 会員の要望に基づいたテーマでの環境セミナーや環境保全・公害防止について先進的な取り組みを進めている事業所の視察など、会員の事業活動に役立つ活動を進めています。

■ 市民のみなさまと共に相模原の環境を見つめ直しています

<主な啓発事業>

- 自然観察ウォッチング
(自然観察会)
- 夏休み環境教室
- 市民まつりにおける
「かんきょうフェア」
- さがみはら環境まつりへの参加
- 各種キャンペーン

<調査・研究事業>

- 市内6河川9地点における河川生物
相調査
- 先進事例等視察
- 環境セミナー

※令和2年度は一部事業を中止しています。

会ホームページを ぜひご覧ください

<http://www.yokusurukai.jp/>

当会の活動を広く紹介し、タイムリーな情報をお知らせするホームページを運営しています。



令和2年度活動報告

全 体 活 動

■ 令和2年度通常総会

令和2年度通常総会が令和2年4月17日(金)から令和2年4月28日(火)にかけて書面にて開催されました。

委任状を含めた74会員の出席回答のもと、三菱電機㈱の渡部氏が議長を務め、令和元年度の「事業報告」及び「収支決算報告」、並びに令和2年度の「事業計画」及び「収支予算」について承認されました。

開催日：令和2年4月17日(金)から令和2年4月28日(火) 開催方法：書面開催 出席者：74会員（委任状込）

かんきょうフェア、さがみはら環境まつりについては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

市民向け体験事業

令和2年度の市民向け体験事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。



調査事業

■ 河川生物相調査 10 月

令和2年10月22日(木)、事務局10名が参加し、境川4地点、姥川、八瀬川、鳩川、道保川の計8地点で調査をしました。

この調査は例年、春と秋の2回河川に生息する生物の種類と数から河川の汚濁状況を評価するため実施していますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で5月の調査は中止し、10月のみ実施しました。

また、調査当日の天気は曇りや晴れで、水量が全体的に多く、流れが急なため相模川の1地点では調査ができませんでした。

各地点でカゲロウやトビケラ、サワガニなど様々な生き物を見つけることができました。

結果は8地点中、5地点で最高の評価である「OS(きれいな所)」、一番悪い評価でも「 βm (ややきれいな所)」が1地点であり、全体的にはきれいな状態が保たれていることがわかりました。

境川では、前回の調査では「OS(きれいな所)」であった上中村橋と鶴金橋の地点について「OS- βm (きれいな所とややきれいな所の中間)」となっており、若干の悪化が見られましたが、相模川水系では調査ができなかった相模川の昭和橋の地点を除きすべての地点で「OS(きれいな所)」であり、改善が見られました。



実施日：令和2年10月22日(木)

場所：市内6河川8地点（1地点調査実施できず）



会員向け啓発事業

■『～私が見つけた～さがみはらの自然フォトコンテスト』

令和2年10月5日(月)から12月15日(火)にかけて、相模原の環境をよくする会 presents 『～私が見つけた～さがみはらの自然フォトコンテスト』の作品を募集しました。

新型コロナウイルス感染症の影響から、例年実施していた写真教室を変更し、今年度は会員向けに写真を通して市内の自然を再発見するための写真コンテストとして実施したものです。

会員の皆様やご家族23名より26作品の力作が集まりました。

例年写真教室で講師を務めてくださっている相模原市在住の写真家の高橋ぎいち先生に審査をいただき、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名が選ばれました。

また、相模原の環境をよくする会特別賞の審査を副会長が行い、3名が選ばれました。

令和3年3月2日から14日にかけては、相模原市立環境情報センターロビーにて、受賞作品を含め応募されたすべての作品の展示を行いました。

今年度は様々な事業が中止となってしまいましたが、本コンテストはコロナ禍にあっても無事に最後まで実施することができました。



金 賞

タイトル：リヴァスポット早戸で自然を満喫

撮影者：三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株) 吉田 順一さん

撮影者コメント：天気も良く、景色も良く、釣果も良く、自然を満喫するのにとても良い場所でした。

金賞作品に対する審査員（高橋ぎいち氏）コメント

「一見して美しさが心に沁みる表現力の優れた作品に仕上がっています。清い水・澄んだ空・色付いた木々。降りそそぐ太陽の一つひとつにインパクトがあります。写真は現場で受け止めた感動を逸することなくどれだけ再現できるかが勝負です。その意味で撮影者は、感動を受け止めることのできる優れた感覚の持ち主であると思われます。」



銀 賞

タイトル：「津久井湖畔」

撮 影 者：三菱重工業(株)
相模原製作所
織田さん（ペンネーム）

銀 賞

タイトル：「日向ぼっこ」

撮 影 者：三菱電機(株)
鎌倉製作所 相模事務所
渡部 一浩さん



銅 賞

タイトル：「『新旧交代』 相模川諏訪

森下中洲より新小倉橋を臨む」

撮 影 者：(株)サンコーシヤ
相模原テクノセンター
小山 元広さん



銅 賞

タイトル：「ぼくの巣箱」

撮 影 者：相模原市環境政策課
金井 佑真さん



銅 賞

タイトル：「その先に、」

撮 影 者：青山学院大学
御家 雄一さん

相模原の環境をよくする会特別賞（3作品）



タイトル：「ずっと市民を
見守ってきた大木」

撮 影 者：東京電力パワーグリッド(株)
相模原支社
千葉 正美さん



タイトル：「雨上がりの水たまり
市議会駐車場で」

撮 影 者：さがみはら地球温暖化
対策協議会
金子豊貴男さん



タイトル：「道保川の流木」

撮 影 者：相模原市環境政策課
海野 宏明さん

作品募集：令和2年10月5日(月)～令和2年12月15日(火)
作品審査：令和3年1月12日(火)～1月22日(金)（書面）
作品展示：令和3年3月2日(火)～令和3年3月14日(日)
展示会場：相模原市立環境情報センター
審 査 員：写真家 高橋 ぎいち 氏
特別賞審査員：副会長 三菱電機(株)
参 加 者：23人

■ 女子美術大学の学生とコラボレーションしたエコバッグ作成

例年は市民の皆様に向けての啓発のために作成しているエコバッグですが、今年度はイベントの中止が相次いだことにより配布する機会がなくなったことを受け、会員の皆様に向けて日頃のご協力への感謝を込めて配布しました。

海洋プラスチックごみ問題などの課題を契機として令和2年7月より開始されたプラスチック製買物袋の有料化を受け、会員の皆様が買い物などで持ち運びやすい折りたためるエコバッグとしました。

また、女子美術大学と連携を行い、大学生の感性による明るく使いやすいデザインとなりました。



<デザイン作者：女子美術大学 デザインルーム 谷下美汐さんコメント>

相模原の自然を大切にする温かい気持ちを、ハート型の葉っぱで構成しワンポイントとして相模原市の鳥であるひばりを入れたデザインです。

日頃から環境保全に協力いただいている方たちへの感謝の気持ちを込めて、英文でメッセージも入れました。

広 報 事 業

■ 会報「かんきょう四季」の発行

会報「かんきょう四季」は、会員、県内水質保全団体、県、市、その他多くの方々に、会の活動状況を広く知っていただくために毎年発行しています。令和2年6月発行の第35号では各事業の活動報告の他、過年度からの継続実施を行っている河川生物相調査報告等を掲載しています。今後も役立つ情報の発信を進めてまいります。

また、会報発行にあたり、御執筆いただきました皆様に、本紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。

発 行 月：令和2年6月 発行部数：350部
配 布 先：会員・関係機関等



本会では「相模原の環境をよくする会」のホームページにより、実施した事業などを紹介しておりますので、是非、会員並びに関係機関の皆様には、ホームページもご覧下さいます様お願いいたします。

「相模原の環境をよくする会 HP <http://www.yokusurukai.jp/>」



その他の運営・活動記録

1 役員会の開催

(1) 第1回役員会

開催日：4月9日(木)～4月15日(水) ※書面会議

- 議 題：1. 令和元年度事業報告及び収支決算について
2. 令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 令和2年度通常総会及び感謝状贈呈について

(2) 第2回役員会

開催日：9月3日(木)～9月10日(木) ※書面会議

- 議 題：1. 令和2年度上半期事業報告及び下半期事業予定について
2. 令和2年度補正予算（案）について
3. 令和2年度会費納入状況について
4. 文書の廃棄について

(3) 第3回役員会

開催日：2月18日(木)～2月25日(木) ※書面会議

- 議 題：1. 令和2年度事業報告について
2. 令和3年度事業計画（案）について
3. 令和3年度感謝状贈呈対象者（案）について
4. 令和3・4年度 役員（案）について
5. 令和3年度通常総会について
6. 書類の押印廃止について
7. 備品の処分について

河川生物相調査結果報告書

1. はじめに

本調査は、当会の前身団体である「河川をきれいにする協議会」の会員の中から調査部員が募られ、昭和51年から開始したものである。当初、境川5地点で始まった本調査は、その後、調査員の交替、調査地点の変更等を経て、45年目を迎えた現在、市内6河川9地点で春と秋の年2回実施している。

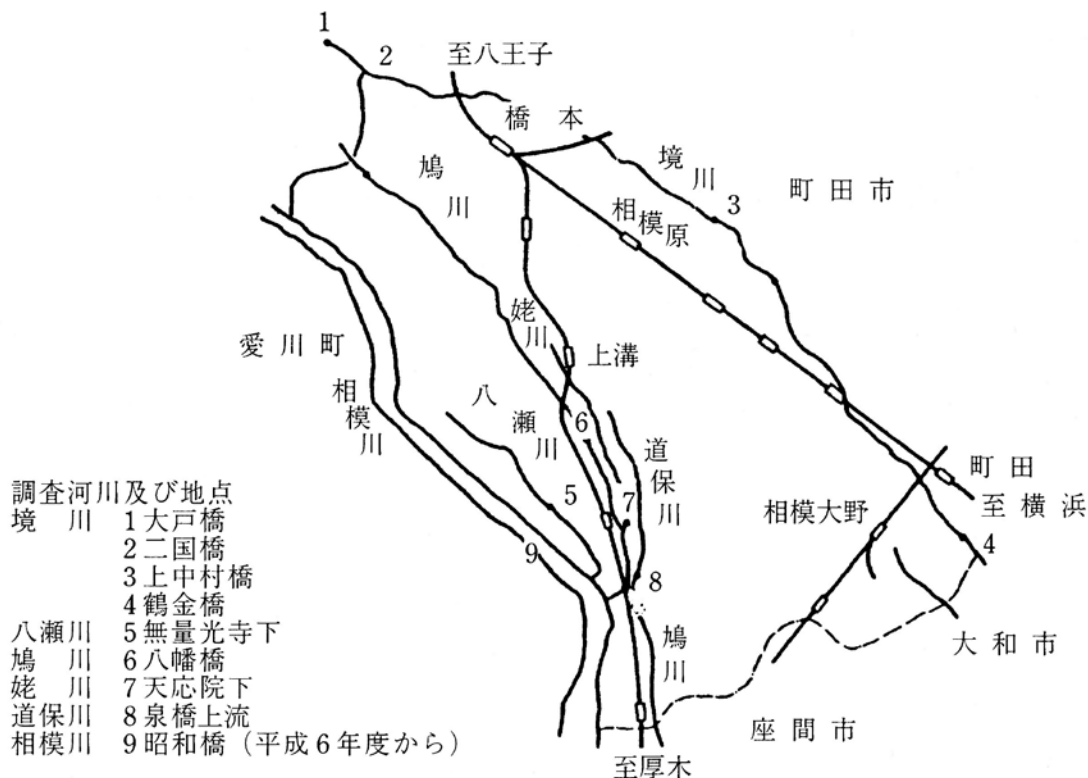
令和2年度は、5月の調査は新型コロナウイルス感染症の影響で中止し、10月22日に調査を実施した。以下、調査結果を報告する。

2. 生物相調査の実施

河川の水質調査の方法としては、BOD、CODなどの理化学的調査の他に、汚濁の進行に応じて水生生物の生息範囲が限られてくることを利用した生物学的な水質調査がある。

この方法は、比較的簡易な方法であること、市民の方々にも親しみが持ちやすい等の利点があり、本会としても河川浄化啓発活動の一環として取り入れてきた。

3. 調査河川と調査結果



境川水系

調査地点	①大戸橋		②二国橋		③上中村橋		④鶴金橋	
調査月日	5月	10/22	5月	10/22	5月	10/22	5月	10/22
気温℃		21		21		23		20
水温℃		16		18		18		17.8
pH試験紙		6.0		7.0		7.0		7.0
にごり		なし		なし		なし		なし
臭気	中止	なし	中止	なし	中止	なし	中止	なし
水深cm		7		10～20		45		2.5
川幅m		2		4		2.5		10
河床		小石と砂		頭大の石・砂と泥		頭大の石・こぶし大の石		頭大の石・こぶし大の石
流速sec/5m		14		10		13		13

大戸橋（境川）

大戸橋は、南高尾山稜の東側の草戸山を源流とする境川の最上流に位置しており、周囲を森林に囲まれた小川に掛かる小さな橋である。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では優占種はカワゲラであり、その他サワガニ・カゲロウ・ヘビトンボ・トビケラの5種類の指標生物に加えアメンボが確認された。

水質階級は前年と変わらずOSであり、「きれいな所」が維持されている。

二国橋（境川）

二国橋は、大戸からやや下流に位置し、緑区相原と町田市に架かり、町田街道の相原十字路交差点近くにある約10m程の橋である。川は相模原市と町田市の境を蛇行して流れ、周囲は住宅街に囲まれている。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では優占種はカゲロウであり、その他カワニナ・ヒル・トビケラ・ガガンボの5種類の指標生物に加えアメンボ等が確認された。

前年度10月調査ではOS-βmであったが今回はβmでやや水質悪化の傾向が見られた。

上中村橋（境川）

上中村橋は、神奈川県と東京都の境界近くに位置し、周辺には宮下工業団地や米軍相模補給廠などがある。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では優占種はアメリカザリガニであり、その他カゲロウ・ガガンボの3種類の指標生物が確認された。

前年度10月調査ではOSであったが、今回はOS-βmでやや水質悪化の傾向が見られた。

鶴金橋（境川）

相模原市内を流れる境川の最下流付近に位置する鶴金橋は、周囲に小工場や民家が密集している。

河川の状況は護岸及び川床ともにコンクリートで覆われており、いかにも街中の川といった場所である。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では、2種類の指標生物が確認され、優占種のカゲロウのほか、トビケラが確認された。

前年度10月調査ではOSであったが、今回はOS-βmでやや水質悪化の傾向が見られた。

相模川水系

調 査 地 点	①無量光寺下		②八幡橋		③天応院下		④泉橋上流		⑤昭和橋	
調 査 月 日	5 月	10/22	5 月	10/22	5 月	10/22	5 月	10/22	5 月	10/22
気 温 ℃		21		20		21		22		
水 温 ℃		18		17		17		17		
pH 試験紙		7.0		7.0		7.0		7.0		
に ご り		なし		なし		なし		なし		
臭 気	中止	なし	中止	なし	中止	なし	中止	なし	中止	
水 深 cm		30		25		30		30		
川 幅 m		2		3		3.5		1.3		
河 床		頭大の石・こぶし大の石		頭大の石・こぶし大の石		頭大の石・こぶし大の石		こぶし大の石		
流速 sec / 5m		43		10		29		8		

水流が多く調査できず

無量光寺下（八瀬川）

八瀬川は田名に端を発し、陽原段丘を西から東に流れ、麻溝地区の「三段の滝」上流で一級河川相模川と合流する延長約5kmの中小河川である。

流域には閑静な住宅地や、水田や段丘斜面の樹林帯があり、段丘崖からの湧水が流入し、水量も比較的豊富で、相模原市の都市部における住民や生物にとって貴重な水辺空間を創出する河川となっている。

調査地点は、八瀬川の下流に位置し、近年開通した圏央道の相模原愛川 IC の近くでもある。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では優占種はサワガニであり、その他カワニナ・カゲロウ・ヤゴの計4種類の指標生物に加えカワエビが確認された。

水質階級は前年と変わらず OS であり、「きれいな所」が維持されている。

八幡橋（鳩川）

鳩川は内出橋下流端に源を発し、上九沢・上溝地区等を経て下溝地区で姥川・道保川と合流し、また中流の磯部付近で鳩川分水路・鳩川隧道分水路によって上流域の水を相模川へ放流している。

調査地点は、鳩川の中流域の上溝地区に位置し、周辺は住宅街になっている。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では優占種はトビケラであり、その他アセラス・カゲロウ・ブユの計4種類の指標生物に加えカワエビが確認された。

水質階級は OS に判定された。前年の調査では OS-βm の判定だったため、水質改善の傾向が見られる。

天応院下（姥川）

姥川は中央区上溝1丁目を上流端とし、横山丘陵の山際を流れ、下溝地内の天応院付近で鳩川と合流する延長約6.5kmの河川である。

調査地点は、姥川の最下流に位置し鳩川との合流点の近くである。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では優占種はトビケラであり、その他プラナリア・ヒル・アセラス・ヨコエビ・カゲロウの計6種類の指標生物に加えカワエビが確認された。

水質階級は OS に判定された。前年の調査では2回共に βm の判定だったため、水質改善の傾向が見られる。

泉橋上流（道保川）

道保川は道保川公園と横山丘陵から湧水を集め、連続した斜面林に沿って流れている。泉橋の上流は、周囲に民家が散在しているが、自然を残した河川づくりによって比較的自然而保たれている。

5月の調査は中止となった。

10月の調査では、優占種はカワゲラであり、その他アセラス・ヨコエビ・カゲロウ・ヤゴ・トビケラの計6種類の指標生物が確認された。

水質階級は前年と変わらずOSであり、「きれいな所」が維持されている。

昭和橋（相模川）

相模川は富士山麓・山中湖を源流とし、山梨県大月市で笹子川と合流し、相模湖・津久井湖を過ぎて南下し相模湾に注ぐ、流路延長109kmの神奈川県内最大の一級河川となっている。

5月の調査は中止となり、10月は水量が多く調査することができなかった。

令和2年度 河川生物相調査結果一覧表 - 境川水系 -

門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					境川							
					os	βm	am	βp	αp	大戸橋		二園橋		上中村橋		鶴金橋	
					5月	10/22	5月	10/22	5月	10/22	5月	10/22					
両形動物門 軟体動物門	渦虫綱	三岐綱目	プラナリア科	プラナリア													
			タニシ科	タニシ													
			カワニナ科	カワニナ													
		基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ						+							
			サカマキガイ科	サカマキガイ													
			カワコザラガイ科	カワコザラガイ													
二枚貝綱	異歯目	ヤマトシジミガイ科	シジミ														
	笠毛綱	原始笠毛目	イトミミズ科	イトミミズ													
環形動物門	ヒル綱			ヒル													
									+								
節足動物門	甲殻綱	等脚目	ミズムシ科	アセラス													
			ヨコエビ科	ヨコエビ													
			ザリガニ科	アメリカザリガニ									+				
		十脚目	サワガニ科	サワガニ								+					
												+					
												+					
	昆虫綱	蛸蟷目		カゲロウ													
		蟻蛉目		ヤゴ												+++	
		襦蟻目		カワゲラ													
		半翅目	タイコウチ科	タイコウチ													
		龍眼目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ													
		毛翅目		トビケラ												++	
		双翅目	アミカ科	アミカ													
			ガガンボ科	ガガンボ													
			チョウバエ科	ホシチョウバエ													
			ブユ科	ブユ													
			ユスリカ科	黒ユスリカ													
			シダアブ科	シダアブ													
稀類目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ															
	ミズスマシ科	ミズスマシ															
		ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ														
月別採取生物種数					5		5		3		3		2				
地点別採取生物種数					5		5		3		2						
判定					os		βm		os~βm		os~βm		os~βm				

水質階級：OS きれいな所
βm ややきれいな所
am ややよごれた所
βp よごれた所
αp たいへんよごれた所

■：その生物がすむことのできる範囲を示す

個体数
+ わずか (5以下)
++ 中位 (6~15)
+++ 多い (16以上)

令和2年度 河川生物相調査結果一覧表 - 相模川水系 -

門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					八瀬川		鳩川		姥川		道保川		昭和橋	
					os	βm	am	βp	αp	無量光寺下		八瀬橋		天宮院下		泉橋上流		昭和橋	
										5月	10/22	5月	10/22	5月	10/22	5月	10/22	5月	10/22
両形動物門 軟体動物門	渦虫綱	三岐目	プラナリア科	プラナリア															
			タニシ科	タニシ															
			カワニナ科	カワニナ															
		基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ															
			サカマキガイ科	サカマキガイ															
			カワコザラガイ科	カワコザラガイ															
二枚貝綱	ヤマトシジミガイ科	シジミ																	
	環形動物門	イトミミズ科	イトミミズ																
ヒル		ヒル																	
節足動物門		等脚目	ミズムシ科	アセラス															
			ヨコエビ科	ヨコエビ															
			ザリガニ科	アメリカザリガニ															
		十脚目	サワガニ科	サワガニ															
	昆虫綱		カゲロウ	カゲロウ															
			ヤゴ	ヤゴ															
カワゲラ		カワゲラ																	
タイコウチ科		タイコウチ																	
ヘビトンボ科		ヘビトンボ																	
トビケラ		トビケラ																	
双翅目		アミカ	アミカ																
		ガガンボ科	ガガンボ																
		チョウバエ科	ホシチョウバエ																
稀類目		ブユ	ブユ																
	ユスリカ	ホシユスリカ																	
	シギアブ	シギアブ																	
	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ																	
	ミズスマシ	ミズスマシ																	
	ヒラタドロムシ	ヒラタドロムシ																	
月別採取生物種数					4		4		4		6		6		6		6		
地点別採取生物種数					4		4		4		6		6		6		6		
判定					os		os		os		os		os		os		os		

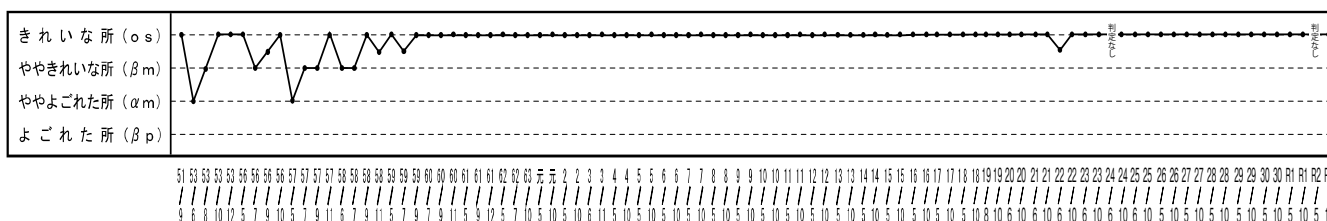
水質階級：OS きれいな所 βm ややきれいな所 am ややよごれた所
βp よごれた所 αp たいへんよごれた所

■：その生物がすむことのできる範囲を示す

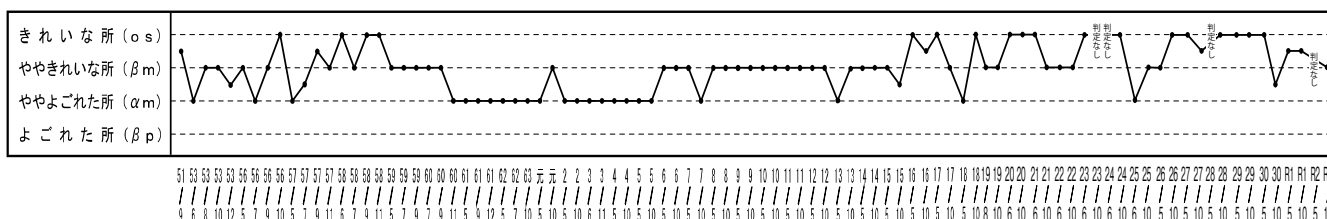
個体数 + わずか (5以下) ++ 中位 (6~15) +++ 多い (16以上)

河川生物相調査水質判定経年変化

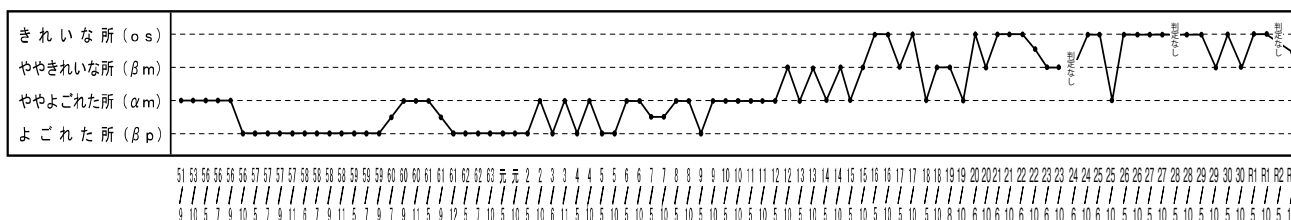
大戸橋（境川）



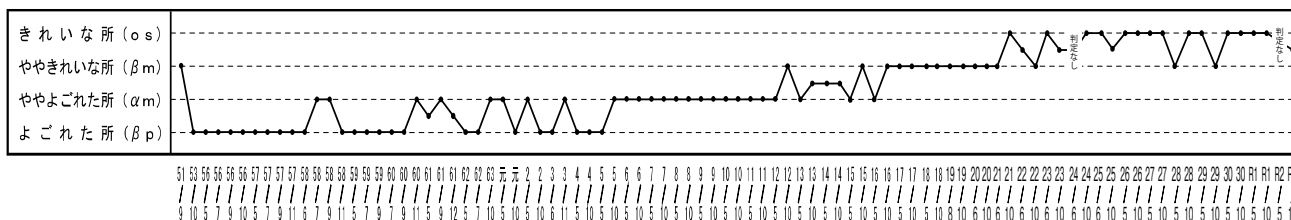
二国橋 (境川)



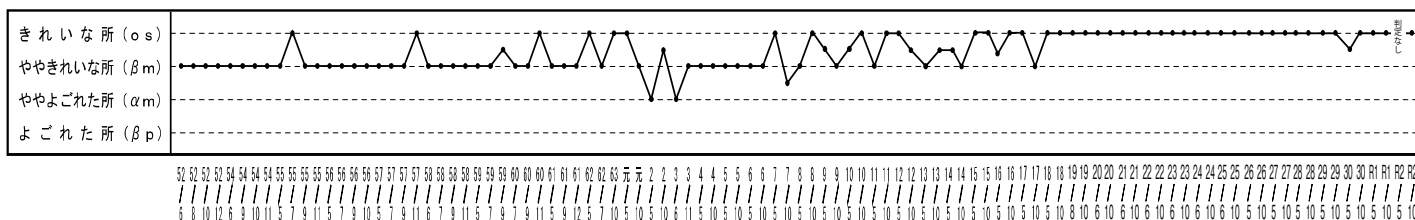
上中村橋（境川）



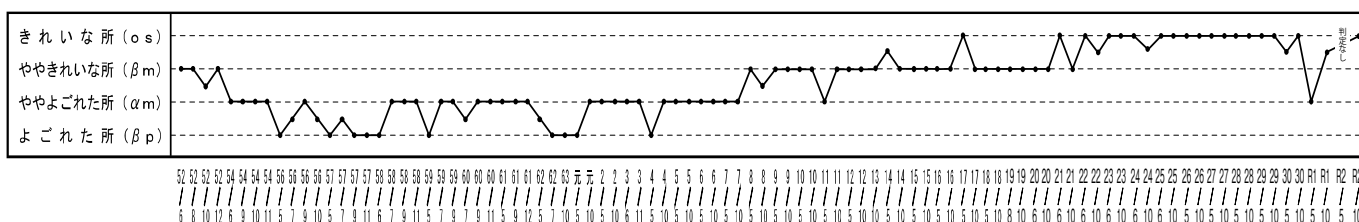
鶴金橋 (境川)



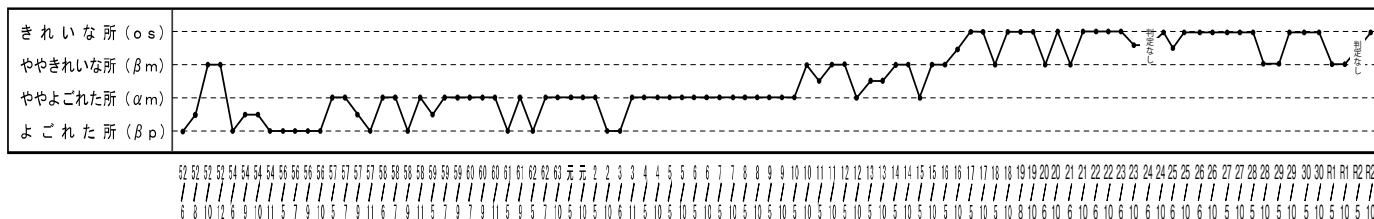
無量光寺下 (八瀬川)



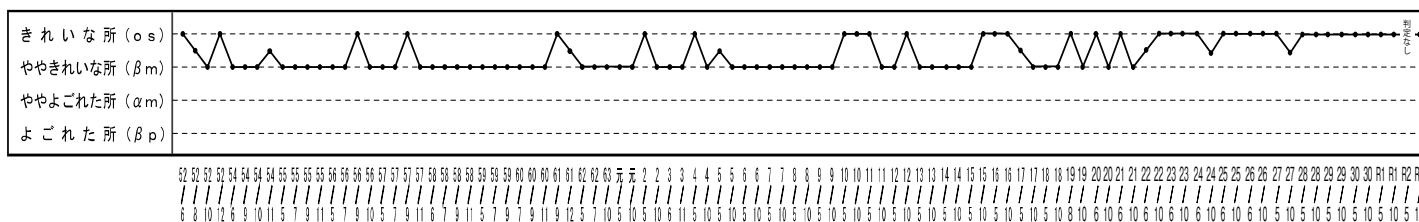
八幡橋 (鳩川)



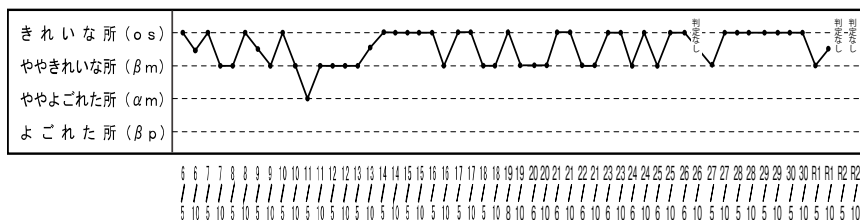
天応院下（姥川）



泉橋上流(道保川)



昭和橋（相模川）



役 員 名 簿

令和3年4月現在

役 職	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
会 長	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	小 松 秀 一	中央区宮下 1-1-57
副会長	日本山村硝子(株) 東京工場	安 藤 通 浩	緑区大山町 3-45
理 事	三菱重工業(株) 相模原製作所	古 殿 通 義	中央区田名 3000
理 事	(株)ニコン 相模原製作所	黒 田 俊 晴	南区麻溝台 1-10-1
理 事	アイダエンジニアリング(株)	会 田 仁 一	緑区大山町 2-10
理 事	(株)オハラ	齋 藤 弘 和	中央区小山 1-15-30
理 事	サクサ(株) 相模原オフィス	丸 井 武 士	中央区宮下 3-14-15
理 事	東京ガス(株) 神奈川西支店	香 川 健	南区相模大野 5-8-18
理 事	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	中 山 由美子	中央区千代田 6-12-25
理 事	K Y B(株) 相模工場	玉 井 実	南区麻溝台 1-12-1
理 事	大和製罐(株) 東京工場	萩 島 和 裕	緑区西橋本 5-5-1
理 事	(一財) 生物科学安全研究所	濱 岡 隆 文	緑区橋本台 3-7-11
理 事	プライムデリカ(株)	齊 藤 正 義	南区麻溝台 1-7-1
理 事	昭和電線ケーブルシステム(株) 相模原事業所	野 口 一 朗	中央区南橋本 4-1-1
理 事	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河 合 貴 之	中央区南橋本 3-8-8
理 事	東ブレ(株) 相模原事業所	露 木 好 則	中央区南橋本 3-2-25
理 事	(株)トッパンパacker ジプロダクツ 相模原工場	渥 美 浩 司	南区大野台 2-27-1
理 事	日産自動車(株) 相模原部品センター	大 村 兼 司	南区麻溝台 1-4-1
監 事	日本板硝子(株) 相模原事業所	本 田 充 樹	緑区西橋本 5-8-1
監 事	峡の原工業団地協同組合	瀬 戸 真 司	緑区橋本台 3-4-20

会 員 名 簿

工場・事業所

令和3年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	アイダエンジニアリング(株)	会 田 仁 一	緑区大山町 2-10
2	(株)アクア	中 村 朋 宏	南区大野台 2-26-10
3	井上醤油(株)	井 上 久 雄	緑区大島 1048
4	岩谷瓦斯(株) 相模原プラント	須 川 祐 志	南区麻溝台 1-10-1 (ニコン内)
5	A G Cマテックス(株)	成 田 裕 二	中央区宮下 1-2-27
6	尾崎理化(株) 本社	尾 崎 勲	緑区根小屋 1888
7	(株)オハラ	齋 藤 弘 和	中央区小山 1-15-30
8	オルガノ(株) 開発センター	本 多 哲 之	南区西大沼 4-4-1
9	鹿島道路(株) 相模合材製造所	小野塚 英 則	南区新戸 983
10	(株)金井産業	金 井 雅 人	中央区田名 5977
11	カプスゲル・ジャパン(株)	小 林 亨	中央区南橋本 4-3-36
12	(株)河坂製作所	田 坂 智	中央区田名 3670
13	関東宇部コンクリート工業(株) 相模原工場	田 中 義 克	中央区宮下 2-17-1
14	菊屋浦上商事(株)	浦 上 裕 生	中央区相模原 6-26-7
15	(株)ケミックス	田 中 勉	南区麻溝台 3481
16	K Y B(株) 相模工場	玉 井 実	南区麻溝台 1-12-1
17	興建産業(株) 神奈川工場	大 土 賢 一	中央区田名塩田 4-19-21
18	権田金属工業(株)	権 田 源太郎	中央区宮下 1-1-16
19	サガミ計測(株)	蒔 田 建	南区下溝 1892-1
20	(株)相模原ゴルフクラブ	鳴 澤 隆	南区大野台 4-30-1
21	サクサ(株) 相模原オフィス	丸 井 武 士	中央区宮下 3-14-15
22	(株)サンコーシヤ 相模テクノセンター	佐々木 博 行	中央区宮下 1-1-12
23	三友プラントサービス(株)	小 松 和 史	緑区橋本台 1-8-21
24	(株)三菱商事 相模原支社	飯 塚 俊 光	緑区橋本台 1-14-13
25	J A全農ミートフーズ(株) 神奈川工場	赤 羽 佑 介	中央区上溝 1856
26	(株)シノテスト	塚 田 聡	南区大野台 2-29-14
27	(株)昭和真空	小 俣 邦 正	中央区田名 3062-10
28	昭和電線ケーブルシステム(株) 相模原事業所	野 口 一 朗	中央区南橋本 4-1-1
29	新相模酸素(株) 相模原工場	中 島 太 司	中央区宮下 2-14-3
30	ステイ電子機器(株)	志 田 正 秀	中央区宮下 3-13-11
31	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河 合 貴 之	中央区南橋本 3-8-8
32	スリーボンドファインケミカル(株)	土 田 耕 作	緑区大山町 1-1
33	世紀東急工業(株) 相模原再生工場	小 野 雅 夫	中央区田名 2500-1
34	(株)成玉舎	福 田 伸 一	中央区宮下 2-15-5
35	セントラル総合サービス(株)	井 上 善 勝	緑区西橋本 3-10-30
36	綜合銘板工業(株)	田 中 桂之介	中央区宮下 3-11-14
37	第一コンクリート(株) 相模原工場	安 部 哲 也	中央区南橋本 4-2-27
38	第一生命保険(株) 町田支社 相模原エリア	木 村 徹	中央区相模原 4-3-14
39	大栄フーズ(株)	岡 康 人	南区相武台 2-5-30
40	タイヨー印刷(株)	長 田 功	中央区上溝 4-9-10
41	大和製罐(株) 東京工場	荻 島 和 裕	緑区西橋本 5-5-1
42	大和ハウス工業(株) 厚木支社 相模原営業所	財 津 高 広	中央区中央 3-1-15
43	竹内貴金属工業(株)	竹 内 忠 夫	中央区南橋本 3-9-17
44	田辺プラスチック機械(株) 相模原工場	三 浦 孝	南区北里 2-30-11

会 員 名 簿

工場・事業所

令和3年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
45	津久井湖観光(株)	山 口 朗 広	緑区三ヶ木 492
46	東榮電化工業(株)	山 本 茂 樹	中央区小町通 2-5-9
47	東京化学塗料(株)	藤 原 賢 一	中央区淵野辺 1-21-23
48	東京ガス(株) 神奈川西支店	香 川 健	南区相模大野 5-8-18
49	東京総合写真(株) 相模原工場	加 藤 光 一	中央区東淵野辺 5-4-2
50	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	中 山 由美子	中央区千代田 6-12-25
51	東京特殊印刷工業(株)	寺 岡 健 郎	南区大野台 2-12-6
52	東京メタルバック(株)	春 山 茂 樹	中央区南橋本 3-2-25
53	東京ライト工業(株) 相模原工場	佐々木 昌	緑区根小屋 1787-1
54	東ブレ(株) 相模原事業所	露 木 好 則	中央区南橋本 3-2-25
55	(株)戸田ゴルフクラブ	門 坂 治 雄	緑区長竹 1838
56	(株)トッパンインフォメディア 相模原工場	高 田 信 二	南区大野台 2-29-20
57	(株)トッパンパッケージプロダクツ 相模原工場	渥 美 浩 司	南区大野台 2-27-1
58	中田屋(株) 相模原工場	島 元 和 生	緑区西橋本 3-10-14
59	(株)ニコン 相模原製作所	黒 田 俊 晴	南区麻溝台 1-10-1
60	(有)西浦塗装工業所	瀬 戸 裕 昭	中央区淵野辺 2-18-15
61	日産自動車(株) 相模原部品センター	大 村 兼 司	南区麻溝台 1-4-1
62	日鉄ドラム(株) 相模原工場	紅 谷 徹	緑区西橋本 5-7-1
63	日本板硝子(株) 相模原事業所	本 田 充 樹	緑区西橋本 5-8-1
64	日本化工機材(株)	大 澤 浩一郎	中央区淵野辺 1-20-8
65	日本ゼトック(株) 相模原事業所	松 田 英 隆	緑区大山町 1-5
66	日本電子工業(株) 相模原工場	池 永 薫	中央区宮下 3-10-14
67	日本トーカンパッケージ(株) 相模原工場	青 木 由紀人	南区麻溝台 1-4-50
68	日本山村硝子(株) 東京工場	安 藤 通 浩	緑区大山町 3-45
69	(有)早川銘板製作所	早 川 正 彦	中央区田名 3039-17
70	日立建機日本(株) 相模営業所	新 津 洋	中央区淵野辺 2-5-8
71	福田道路(株) 相模原合材工場	坂 井 浩 一	中央区田名 3385-1
72	富士工業(株)	柏 村 浩 介	中央区淵野辺 2-1-9
73	プライムデリカ(株)	齊 藤 正 義	南区麻溝台 1-7-1
74	ペンニッター(株)	下 村 武 司	中央区南橋本 4-5-13
75	(株)宝月堂文具店	佐 藤 幸 一	中央区淵野辺 3-19-9
76	マルマテクニカ(株) 相模原事業所	森 木 英 光	南区大野台 6-2-1
77	美鈴紙業(株) 東京事業所	長谷川 和 也	緑区橋本台 3-1-12
78	三菱重工業(株) 相模原製作所	古 殿 通 義	中央区田名 3000
79	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	小 松 秀 一	中央区宮下 1-1-57
80	ミヤジフーズ(株)	宮 地 俊 二	南区古淵 5-6-16
81	(株)ヤマダコーポレーション	山 田 幸太郎	中央区宮下 1-2-38
82	(株)ヤマダメタルテック	石 井 正 信	緑区西橋本 3-12-9
83	(株)ヤマテコーポレーション	麻 生 敬 三	中央区田名 3879
84	(株)ユニックス	平 田 徹	南区麻溝台 6-17-6
85	ユニリーバ・ジャパン(株) 相模原工場	村 井 英 匡	南区大野台 2-14-1
86	(株)ライト	佐々木 亮 一	中央区中央 5-9-10
87	(株)リガルジョイント	稲 場 純	南区大野台 1-9-49

会 員 名 簿

公共事業所等

令和3年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	(学) 青山学院大学	原 啓	中央区淵野辺 5-10-1
2	(学) 麻布獣医学園	山 口 雄 弘	中央区淵野辺 1-17-71
3	(学) 和泉短期大学	伊 藤 忠 彦	中央区青葉 2-2-1
4	神奈川県水産技術センター内水面試験場	石 黒 雄 一	緑区大島 3657
5	(一財) 北里環境科学センター	山 田 陽 城	南区北里 1-15-1
6	(学) 北里研究所	小 林 弘 祐	南区北里 1-15-1
7	相模原機械金属工業団地協同組合	前 田 順 也	緑区橋本台 2-7-28
8	相模原市農業協同組合 本店	小 泉 幸 隆	中央区千代田 1-2-17
9	(学) 女子美術大学	福 下 雄 二	南区麻溝台 1900
10	(一財) 生物科学安全研究所	濱 岡 隆 文	緑区橋本台 3-7-11
11	峡の原工業団地協同組合	瀬 戸 真 司	緑区橋本台 3-4-20

賛助会員

令和3年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 相模原支部	古 屋 伸 夫	南区東林間 1-25-10-210
2	相模原市環境政策課	角 田 小百合	中央区中央 2-11-15
3	相模原市自治会連合会	坂 本 堯 則	中央区富士見 6-6-23
4	相模原市地域婦人団体連絡協議会	石 川 壽々子	中央区陽光台 2-12-10
5	さがみはら地球温暖化対策協議会	坂 本 堯 則	中央区富士見 1-3-41

相模原の環境をよくする会会則

(名 称)

第1条 本会は、相模原の環境をよくする会と称し、事務局を相模原市役所内に置く。

(目 的)

第2条 本会は、公害を未然に防止し、豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境づくりに努め、もって快適な環境の創造に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 公害防止技術の調査研究
- (2) 環境保全に係る調査研究
- (3) 研修会、講演会、視察等の実施
- (4) 環境の保全に係る啓発活動
- (5) 関係行政機関との連携及び協力
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会 員)

第4条 本会は、相模原市内にある工場、事業場等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものをもって組織する。

2 会員は、別表の定めるところにより、会費を負担するものとする。

(賛助会員)

第5条 市内にある環境保全団体並びに市民団体等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものを賛助会員とすることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員の選出)

第7条 本会の会長、副会長、理事及び監事は、総会で会員の中から選出する。

2 役員の任期満了前における欠員補充は、会員が役員会の同意を得て、会員の中から選任する。

(役員の任務)

第8条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長不在のときは、これを代行する。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、会計を監査する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補充により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期が満了したときにおいても、後任者が就任するまで引き続きその職を行うものとする。

(事務局職員)

第10条 本会の事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1 名
- (2) 次 長 1 名
- (3) 書 記 若干名

2 事務局職員は、会長が委嘱する。

3 事務局長は、会の庶務を統括する。

4 次長は、事務局長を補佐し、事務局長不在のときは、その職務を代行する。

5 書記は、会の庶務を処理する。

(名誉会長及び顧問)

第11条 本会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(会 議)

第12条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

(総 会)

第13条 総会は、会員及び賛助会員をもって構成する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長がこれを招集する。

3 通常総会は毎年1回、臨時総会は会長が必要と認めるとき又は会員及び賛助会員の3分の1以上から請求があったとき、これを開くものとする。

4 総会の議長は、そのつど選出する。

5 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 役員の選出に関する事
- (2) 事業計画及び事業報告に関する事
- (3) 予算及び決算に関する事
- (4) 会則の改廃に関する事
- (5) その他会長が必要と認める事項

(役員会)

第14条 役員会は、会長、副会長、理事及び監事をもって構成し、会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長をもってこれにあてる。

3 役員会は、この会則の別の条項に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会で議決した事項の執行に関する事
- (2) 総会に提案すべき事項に関する事
- (3) 予算の補正に関する事
- (4) 総会で委任された事項に関する事
- (5) その他役員会において必要と認める事項

(会議の議決)

第15条 総会及び役員会は、構成員の2分の1以上の出席（委任状を含む）がなければ議事を開き、議決することができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(経 費)

第16条 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。

- (1) 会 費
- (2) 負担金
- (3) 補助金
- (4) その他の収入

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(委 任)

第18条 この会則の施行について必要な事項は、会長が役員会の議決を経て別に定める。

附 則

この会則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成19年4月20日から施行する。

別 表

会費算定基準（第4条関係）

- 1 工場、事業場にあつては、次の表に定める資本金額及び従業員数により算出した合計点数に2,500円を乗じた額とする。

点 数 区 分	1	2	3	4	5	6	7	8
資 本 金 額	5 千万 円未満	5 千万 円以上 1 億円 未満	1 億円 以上 3 億円 未満	3 億円 以上 5 億円 未満	5 億円 以上 10億円 未満	10億円 以上 50億円 未満	50億円 以上 100億円 未満	100億 円以上
従 業 員 数 (人)	10 未満	10 以上 50 未満	50 以上 100 未満	100 以上 500 未満	500 以上 1,000 未満	1,000 以上 1,500 未満	1,500 以上 2,000 未満	2,000 以上

- 2 公共事業所（相模原市役所を除く。）その他これに類する事業場
一律10,000円を会費とする。
- 3 相模原市役所は200,000円を会費とする。

相模原の環境をよくする会細則

(入 会)

第1条 本会に入会しようとするものは、所定の入会申込書により申し込むものとする。

(退 会)

第2条 会員が退会しようとするときは、理由を付して届け出るものとする。

(変 更)

第3条 入会申込書に記載した事項のうち会長が必要と認める事項に変更があったときは、会員は、速やかに所定の変更届により届け出るものとする。

(会 費)

第4条 会費は年額とし、毎年5月1日から6月30日までに納入しなければならない。ただし、年度途中においての加入会員は、加入時期に応じ、月割りにより算出し、入会と同時に納入するものとする。

2 前項ただし書の規定により算出した額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

3 既納の会費は、これを返還しない。

(負担金)

第5条 規定会費の他に特定の事業を行う場合、会長は、役員会の同意を得て、会員に対し負担金を請求することができる。

(名誉会長及び顧問)

第6条 名誉会長及び顧問は、会長が、役員会の同意を得て、委嘱するものとする。

2 名誉会長及び顧問の任期は、委嘱された日から、その日の属する年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

(会 計)

第7条 本会の会計のうち、予算執行上の処理については、次のとおりとする。

(1) 予算の執行は、事務局長が行う。

(2) 補正は次のとおりとし、役員会の決定を得て行うものとする。

ア 項及び目の設定又は廃止

イ 予算総額の10パーセント以上の支出を伴う予算額の変更

ウ 項間の予算額の移動で、当初計上した予算額の20パーセント以上を他の項に移動する場合

(3) 流用は次のとおりとし、事務局長の裁量で行うものとする。

ア 項間の予算額の移動で、補正に該当しない場合

イ 目間の予算額の移動

(4) 充当は、予備費を他の項及び目に使用する場合であり、事務局長の裁量で行うものとする。

(報 酬)

第8条 本会の役員及び事務局職員は、無報酬とする。

(文書管理)

第9条 本会の文書の保存期間は、別表のとおりとする。

2 保存期間が過ぎた文書は、速やかに廃棄するものとする。ただし、特に必要と認められる文書については、会長が役員会の同意を得て、保存期間を過ぎた後も保管することができる。

3 前項の規定により文書を廃棄するときは、役員会の決定を得なければならない。

4 個人情報が含まれる文書を廃棄するときは、廃棄後に情報が読み取れないように配慮しなければならない。

附 則

この細則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成19年4月20日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成29年11月7日から施行する。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

別表（第9条関係）

文書の区分	保存期間
会則、細則及び規定 入会申込書 退会届 変更届 会員名簿 総会議事録（議案書を含む。） 役員会議事録 委託契約書類 会報（創刊号から）	常用
収入伺 支出命令書 銀行預金通帳	10年
総会及び役員会関係書類（他の区分に属するものを除く。） 事業関係書類（他の区分に属するものを除く。）	5年
その他軽易な文書	1年

備考 保存期間は、文書を作成し、又は取得した事業年度（契約期間のある契約書等一定期間効力を有する文書については、その期間の満了した事業年度）の次の事業年度の初日から計算するものとする。

表彰に関する規定

(趣 旨)

- 1 相模原の環境をよくする会（以下「本会」という。）の事業を通じて環境の保全・浄化に功労のあったものを表彰することに関して必要な事項を定める。

(表彰状及び感謝状の贈呈)

- 2 功労者には、次により表彰状又は感謝状を贈呈する。
 - (1) 環境の保全・浄化に功労のあった個人及び団体
 - (2) 本会の役員として10年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった役員会社
 - (3) 本会の役員として5年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった個人

(被表彰者の決定)

- 3 会長は、表彰状及び感謝状を贈呈しようとするときは、あらかじめ役員会の同意を得なければならない。

附 則

- 1 この規定は、昭和60年4月1日から適用する。
- 2 相模原の河川をきれいにする会及び相模原の青空を守る会の役員在職年数は、本会の役員在職年数とみなす。

附 則

この規定は、平成7年4月1日から適用する。

入 会 申 込 書

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地 _____

名 称 _____

代表者職氏名 _____

貴会の目的及び会則に賛同して、下記により入会を申し込みます。

工場又は事業所名	
所 在 地	
資 本 金	
従 業 員 数	
担 当 者 氏 名	
担 当 者 所 属	
電 話 番 号	
Eメールアドレス	

※従業員数は、相模原市における工場又は事業所の人数をご記入ください。

退 会 届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地

名 称

代表者職氏名

電話番号

下記の理由により、相模原の環境をよくする会を退会します。

(理由)

変 更 届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地 _____

名 称 _____

代表者職氏名 _____

電話番号 () _____

下記のとおり届け出ます。

【事業所関係】

	新	旧
名 称		
所 在 地		
電話番号		
E-mail		

【役員関係】

		所 属	役 職	氏 名	備 考
代表者	旧				
	新				
担当者	旧				
	新				

変更日 年 月 日

(変更理由)

澄んだ水 あふれる緑 青い空 みんなで築こう相模原

(スローガン)

令和 3 年 4 月

相模原の環境をよくする会

事務局(相模原市 環境経済局 環境共生部 環境政策課)

TEL 042(769)8240(直通)

FAX 042(754)1064

印刷 タイヨー印刷(株) TEL 042(762)2157



澄んだ水あふれる緑青い空
みんなで築こう相模原